

| | 検査項目 | 検査対象 | 基準値 | 検査結果に関連する病気・症状 |
|-------------|-----------------|--|--|--|
| 血液の異常を調べる検査 | 赤血球数 (RBC) | 全身の組織に酸素を運ぶ赤血球の数を調べる | 男性：400～539×10 ⁴ /μl 女性：360～489×10 ⁴ /μl | 高値：多血症等 低値：貧血等 |
| | 血色素 (HB：ヘモグロビン) | 赤血球中に含まれるたんぱく質の一種を測定し、貧血等を調べる | 男性：13.1～16.6g/dl 女性：12.1～14.6g/dl | 高値：多血症等 低値：貧血等 |
| | ヘマトクリット (HT) | 血液に含まれている赤血球の割合。ヘモグロビンと同様に貧血等を調べる | 男性：38.5～48.9% 女性：35.5～43.9% | 高値：多血症、脱水症等 低値：貧血等 |
| | MVC、MCH、MCHC | 貧血がみられるときに行う。MCV=赤血球の容積、MCH=血球に含まれるヘモグロビンの量、MCHC=赤血球容積に対するヘモグロビン量の割合を調べる | MCV：85～102fl MVH：28～34pg MCHC=30.2～35.1% | MCVが高値でMCHCが正常・・・ビタミンB12欠乏性貧血、葉酸欠乏性貧血等 MCV、MCHCとも正常・・・腎性貧血、溶血性貧血、急性出血等 MCV、MCHCとも低値・・・鉄欠乏性貧血、慢性炎症等 |
| | 血清鉄 | ヘモグロビンの合成に必要な血液中の鉄分の過不足を調べる | 男性：50～200μg/dl 女性：40～180μg/dl | 高値：急性肝炎等 低値：鉄欠乏性貧血、がん等 |
| | 白血球数 (WBC) | 体内に侵入してくるウイルスや細菌を退治する仕組みを免疫といい、その中心的役割を果たす白血球の量を調べる | 3.2～8.5×10 ⁴ /μl | 高値：白血病、心筋梗塞、細菌感染等 低値：悪性貧血、再生不良性貧血、肺血症等 |
| | 血小板数 (PLT) | 出血した部分に粘着して出血を止める役割を果たす血小板の量の過不足を調べる | 13.0～34.9×10 ⁴ /μl | 高値：血小板血症、鉄欠乏性貧血等 低値：再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、肝硬変等 |
| | 末梢血液像 (白血球分類) | 白血球の各種がどのような割合で血液中にあるかを調べ、どの種類が増減しているかで病気の診断を行う | 好中球：45～65% 好塩基球：0～2% 好酸球：3～5% リンパ球：30～40% 単球：3～8% | 好中球・・・高値：細菌感染等 低値：急性白血病等 好塩基球・・・高値：慢性骨髄性白血病等 好酸球・・・高値：慢性骨髄性白血病 リンパ球・・・高値：ウイルス感染症等 低値：悪性リンパ腫等 単球・・・高値：慢性肝炎等 |
| 感染症を調べる検査 | CRP | 細菌やウイルスの感染、けが、病気等によって体に炎症が起きると肝臓でつくられ、血中に増えるたんぱく質 | 定性法：陰性 定量法：0.3mg/dl以下 | 発熱、リウマチ熱、関節リウマチ、細菌・ウイルス感染症、悪性腫瘍、心筋梗塞等 |
| | 血沈 | 血液を細い管に入れて1時間置いておき、沈んだ赤血球などの層と上澄みの間のラインの下がり幅を調べる | 男性：1～10mm 女性：2～15mm | 高値：貧血、肺炎、心筋梗塞、膠原病等 低値：多血症、血液凝固因子の減少、免疫グロブリンの減少等 |
| | ASO | 溶血性連鎖球菌の感染の有無を調べる | 200U/ml以下 | リウマチ熱、膠原病等 |
| | 梅毒反応検査 | 梅毒の病原体やそれに対する抗体の有無を見分ける | 陰性 (-) | 陽性 (+)・・・梅毒等 ※膠原病や肝臓病等の場合も陽性になることがある |
| | RA | リウマチ因子の有無を調べて関節リウマチを診断する | 陰性 (-) | 陽性 (+)・・・関節リウマチ、膠原病等 |